

新シリーズのコンパクト汎用実装機「CLT-FG」を発表

～コンパクト性と生産対応の柔軟性を両立し、多様なニーズに対応～

株式会社 F U J I（本社：愛知県知立市、代表取締役社長：五十棲 丈二、以下「FUJI」）は、コンパクト性と生産対応の柔軟性を両立した新たな実装機『CLT-FG（シーエルティー エフジー）』を開発しました。装置幅 1mのコンパクト設計に、FUJI がこれまで実装機開発で培ってきた技術を活かし、多品種少量生産をはじめとする多様な生産ニーズに応え、柔軟かつ安定した生産を実現します。

CLT-FG



FUJI の電子部品実装ロボットの最新ラインナップ『CLT-FG』

■開発の背景

近年、電子機器の多様化や技術革新、製品ライフサイクル短縮に伴い、生産現場では多品種少量生産への対応や、需要変動に対応する生産切り替えの柔軟性がこれまで以上に求められています。

一方で、設備導入においては実運用に適した装置性能や設置スペース、運用負荷といった課題もあり、最適な設備選定が重要なテーマとなっています。

このような背景を受け、FUJI はお客様の声をもとに、実際の生産現場に求められる価値を追求し、制約のある生産現場でも導入しやすいコンパクトさと高い柔軟性を両立した幅広い生産ニーズに応える新たな実装機として『CLT-FG』の開発を進めてまいりました。

■ CLT-FG の特長

(1) 幅広い生産に柔軟に対応

小型チップ部品的高速実装から大型部品の安定ハンドリングまで、1 つのヘッドで幅広い部品に対応可能な汎用ヘッドを搭載し、多様な製品の生産に対応。生産品種の切り替えが多い多品種少量生産の現場にも柔軟に対応し、常に高効率な生産を実現します。

(2) コンパクトで導入しやすい

多様な生産現場のニーズに合わせて最適化した装置幅約 1 m のコンパクト設計により、設置場所の自由度を向上。シンプルかつ無駄のない装置・ユニット構成により、導入および運用の負担を軽減します。

(3) 確かな技術が支える高品位実装

FUJI がこれまで培ってきた実績のある最先端実装技術や既存プラットフォーム資産を継承し、多様な生産への対応力を実現。安定した稼働と高い信頼性により、品質の高い実装を提供します。また、既存装置との資産互換性にも配慮し、スムーズな運用を支援します。

■ 今後の展開

FUJI では、お客様の選択肢を広げる新たなプラットフォームとして『CLT-FG』をラインナップに加え、より多様な生産現場のニーズに応えていきます。また、2026 年 6 月に東京ビッグサイトで開催される電子部品実装技術の総合展示会『JISSO PROTEC 2026』にて、『CLT-FG』を世界初公開します。

出展概要

出展先：JISSO PROTEC 2026（第 27 回実装プロセステクノロジー展）
会期：2026 年 6 月 10 日（水）～6 月 12 日（金）10:00～17:00
会場：東京ビッグサイト
公式サイト：<https://www.jissoprotec.jp/>
FUJI ブース：東 1 ホール 1A-46

会社概要

会社名：株式会社 F U J I
代表者：代表取締役社長 五十棲 丈二
所在地：〒472-8686 愛知県知立市山町茶碓山 19
設立：1959 年 4 月
事業内容：電子部品実装ロボットならびに工作機械の開発、製造、販売
資本金：5,878 百万円
FUJI 公式 HP：<https://www.fuji.co.jp/>
SMT 専用 HP：<https://smt.fuji.co.jp/>

本件に関するお問合せ先

株式会社 F U J I ロボットソリューション事業本部 マーケティング部 グローバルメディア課 白井
TEL：0566-81-8263
お問い合わせフォーム：https://smt.fuji.co.jp/contact_other/